

平成28年度 疾患委員会活動報告

平成29年6月18日

担当理事・委員長：足立 壯一、副委員長；田尻 達郎（固形腫瘍）

委員：石黒 精（止血・血栓）、高橋 幸博（血小板）、康 勝好（白血病・リンパ腫）、橋井 佳子（造血細胞）、森本 哲（組織球症）、渡邊 健一郎（再生不良性貧血・MDS）、小原 明（小児慢性）

（目的）小児血液疾患及び小児がん領域の疾患に関わる調査研究等を円滑に実施するために必要な実務および調整を執り行う。（学術・調査委員会と連携）

（業務）1. 小委員会の調査研究の進捗管理

2. 小児慢性特定疾患研究事業で扱う用語等に対する対応

小児慢性WG（小原 明、七野 浩之、寺島 慶太、長谷川 大輔、谷ヶ崎 博、大賀 正一）

1. 小慢意見書改訂作業

小児科学会小児慢性疾患委員会から小児慢性疾患意見書の改訂を求められ（28年4月）、「悪性新生物」「血液疾患」の改訂版意見書を作成した。意見書フォーマットは疾患毎に、または共通項目を持つ疾患群毎に作成している。現行の意見書よりも合併症記載や、フォローアップレベルの記載を盛り込んだ。この改定案が採用されるか否かは現時点（29年6月）では未定である。

2. 小慢性悪性新生物の「5年しぼり」について。

従来、小児慢性の悪性新生物の医療助成には治療終了後5年間の制限があったが、厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課長通知「雇児母発1218第1号 平成26年12月18日」により、「第二表 悪性新生物」の疾病で再発や転移の可能性が高いため、経過観察が必要なものについては、「何らかの治療を行っている場合に加え、その治療の経過を観察している場合も小児慢性特定疾病の医療費助成の対象とする。」とされている。上記の課長通知は小慢情報センターHpの「概要」ページの最下段に掲載されている。

<http://www.shouman.jp/about/#overview>

1. 血小板委員会（定員9）（委員長；高橋 幸弘 委員；石黒 精、小林 尚明、國島 伸治、笹原 洋二、前田 尚子、今泉 益栄、東川 正宗）（1名公募中）

2. 止血・血栓委員会（定員9）（委員長；大賀 正一 委員；石黒 精、小川 千登勢、小阪 嘉之、長江 千愛、工藤 寿子、百名 伸之、河崎 裕英）（1名公募中）

3. 白血病・リンパ腫委員会（定員12）（委員長；康 勝好 委員；今村 俊彦、真部 淳、足立 壯一、多賀 崇、高木 正稔）（6名公募中）

4. 組織球症委員会（定員6）（委員長；森本 哲 委員；浅野 健、子川 和弘）（3名公募中）
5. 造血細胞移植委員会（定員8）（委員長；橋井 佳子 委員；田内 久道、長澤 正之、森本 哲）（3名公募中）
6. 再生不良性貧血・MDS委員会（定員8）（委員長；渡邊 健一郎 委員；小原 明、長谷川 大輔、矢部 晋正、大園 秀一）（3名公募中）
7. 固形腫瘍委員会（定員9）（委員長；田尻 達郎）

委員の選任方法；全ての委員会は学会員から公募し、現委員長と学術調査委員会で選任し、理事会で承認